

## 滋賀県内企業動向調査 ～2015年7-9月期の実績見込みと10-12期の見通し～ 景況感は、やや持ち直しの動き

(株)滋賀銀行のシンクタンクである(株)しがぎん経済文化センター(大津市、取締役社長中川 浩)では、県内企業の景況感を調査するために「滋賀県内企業動向調査」を四半期ごとに実施しています。このほど2015年7-9月期分の調査結果をまとめましたので、公表いたします。

### 【調査の概要】

- ・調査名：滋賀県内企業動向調査(2015年7-9月期)
- ・調査時期：2015年8月10日～8月28日
- ・調査方法：郵送による配布、回収
- ・調査対象先：滋賀県内に本社を置く企業および県外からの進出企業 935社
- ・回答数：400社(有効回答率43%)うち製造業180社、非製造業220社
- ・分析手法：D I (ディフュージョン・インデックス)  
「かなり良い」と「やや良い」の回答割合から、「かなり悪い」と「やや悪い」の回答割合を引いた指数)を採用

### 【調査結果の要旨】

#### 1. 現在の業況判断(P2～4)

- ・今回調査(15年7-9月期)での自社の業況判断D Iは-9で、前回(4-6月期)の-14から5ポイント上昇した。
- ・前回時点での見通し(-6)を下回ったが、3四半期ぶりに上昇に転じた。消費増税が実施された14年4-6月期以降、6四半期連続で「悪い」が「良い」を上回る状態が続いているものの、やや持ち直した。
- ・製造業は、前回の-20から9ポイント上昇の-11となった。輸送用機械と電気機械、化学が大幅に回復してプラス水準となり、窯業・土石は前回に引き続き「もちあい」を維持した。その他の業種では一部改善したものもあるが、繊維、木材・木製品、紙・パルプなどでは厳しい状態が続いている。
- ・非製造業は、前回の-9から1ポイント上昇の-8となった。建設業が前回のもちあいからさらに回復しプラス水準となったほか、小売が依然マイナス水準ながらも回復。前回大幅に回復したその他の非製造業は、大きく悪化したもののプラス水準を維持した。一方で不動産、卸売、運輸・通信は停滞が続いている。
- ・3カ月後は、製造業が現在から11ポイント上昇し「もちあい」、非製造業は1ポイント上昇の-7、全体では5ポイント上昇の-4となる見通しで、回復の兆しを示した。

#### 2. その他の判断項目(P4～7)

- ・売上D I(前回：-6→今回：-12)は、製造業で上昇するも、非製造業で低下。
- ・仕入価格D I(+25→+24)は、ほぼ横ばいで厳しい状況続く。
- ・販売価格D I(-1→-3)は、再び低下。非製造業がマイナス水準に転じる。
- ・経常利益D I(-6→-9)は、再び低下。6四半期連続のマイナス水準。
- ・雇用人員D I(-11→-20)は、3四半期ぶりに低下し、不足感が続く。
- ・製・商品の在庫D I(+6→+9)は、製造業中心に過大感がやや強まった。
- ・生産・営業用設備D I(-1→-3)は、不足感がやや強まる。

#### 3. 設備投資の実施状況(P8・9)

- ・設備投資を実施した(する)企業の割合は49%で、前回(44%)から5ポイント上昇。
- ・主な内容(複数回答)は、「生産・営業用設備の更新」(47%)が最多。次いで「車両の購入」(27%)、「OA機器の購入」(24%)などが続いた。

【お問い合わせ先】(株)しがぎん経済文化センター 産業・市場調査部 長山(TEL: 077-523-2245)

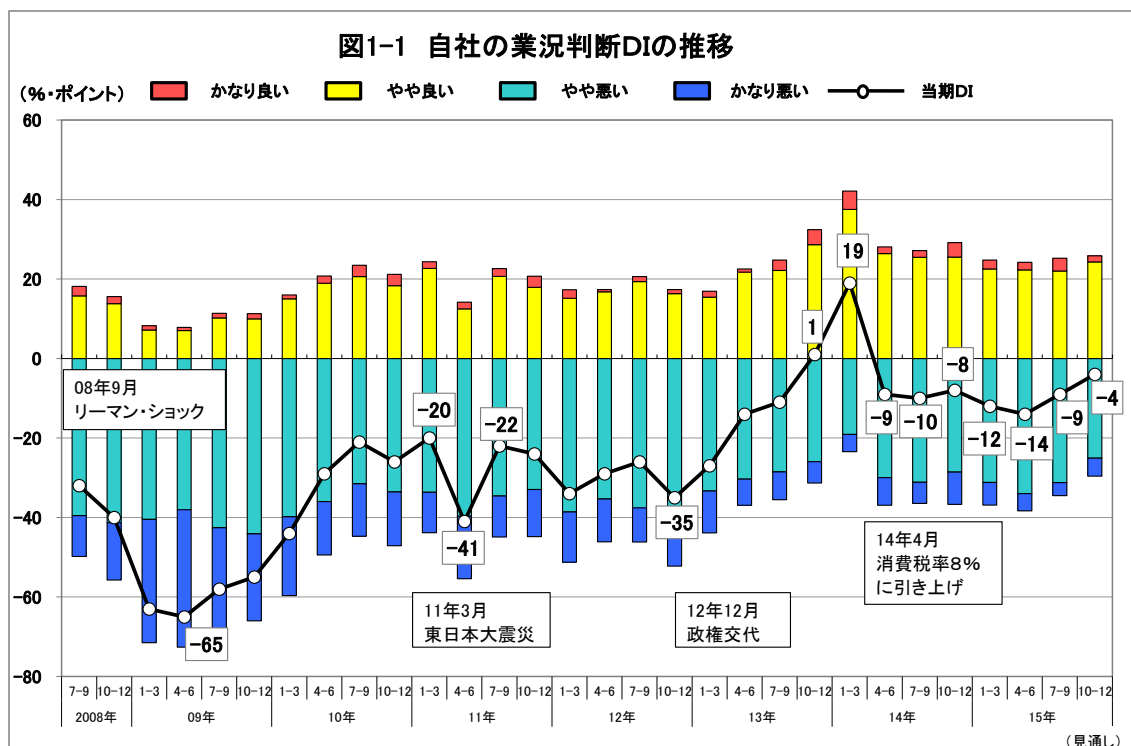
# 1. 自社の業況判断

## (1) 自社の業況判断DI…6四半期連続のマイナス水準

### 1 全体の動向 (図1-1)

今回の調査(15年7-9月期)での自社の業況判断DIは前回(4-6月期)の-14から5ポイント上昇の-9となった。前回時点での見通し(-6)を下回ったものの、3四半期ぶりに上昇に転じた。14年4-6月期以降、「悪い」と答えた企業の割合が6四半期連続で「良い」を上回った。

3カ月後は5ポイント上昇の-4と、マイナス水準にとどまるも、回復の見通しを示した。



### 2 業種別の動向 (図1-2、表1)

業種別にみると、製造業は、前回の-20から9ポイント上昇の-11となった。輸送用機械(前回:-67→今回:+10)と電気機械(-36→+15)、化学(-9→+22)が大幅に回復してプラス水準となり、窯業・土石(±0→±0)は前回に引き続き“もちあい”を維持した。その他の業種では一部改善したものもあるが、繊維(-36→-33)、木材・木製品(-23→-27)、紙・パルプ(-50→-50)などでは厳しい状態が続いている。3カ月後は、紙・パルプ、窯業・土石、食料品、金属製品、一般機械などでプラスに転じ、製造業全体では現在から11ポイント上昇の“もちあい”となる見通しである。

非製造業は、前回の-9から1ポイント上昇し、ほぼ横ばいの-8となった。建設(±0→+12)がプラス水準に回復。小売は依然マイナス水準ながらも改善し、前回大幅に回復したその他の非製造業は一転して悪化したもののプラス水準を維持した。不動産(-27→-33)、卸売(-27→-35)、運輸・通信(-27→-36)は停滞が続いている。3カ月後は、現在から1ポイント上昇の-7となる見通し。

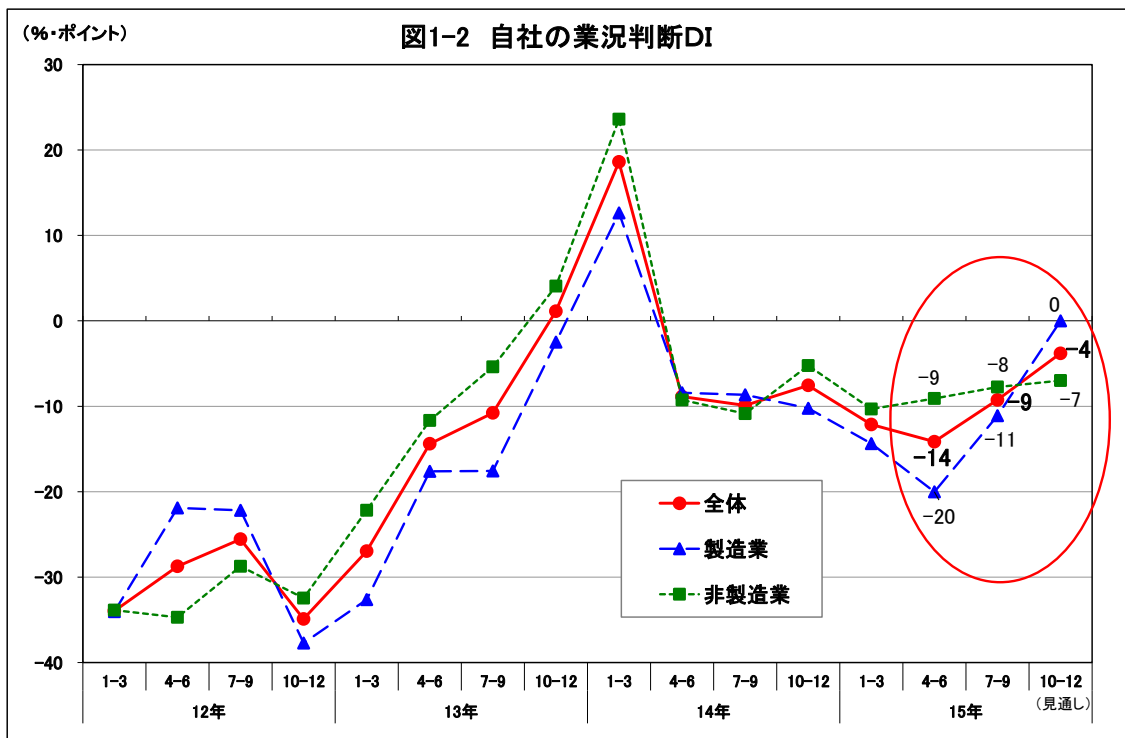


表1 自社の業況判断DI(業種別)

業種(※1)	今回の回答社数	15年 4-6月期 前回	15年 7-9月期 今回(※2)	10-12月期 見通し
<b>全体</b>	<b>400</b>	<b>-14</b>	<b>-9 ( -6 )</b>	<b>-4</b>
<b>製造業</b>	<b>180</b>	<b>-20</b>	<b>-11 ( -4 )</b>	<b>0</b>
繊維	24	-36	-33 ( -36 )	-13
木材・木製品	11	-23	-27 ( -15 )	-18
紙・パルプ	6	-50	-50 ( -50 )	17
化学	9	-9	22 ( 27 )	44
石油・石炭	X	X	X ( X )	X
窯業・土石	9	0	0 ( 13 )	11
鉄鋼	X	X	X ( X )	X
非鉄金属	X	X	X ( X )	X
食料品	13	8	-8 ( 15 )	8
金属製品	19	-35	-11 ( 6 )	16
一般機械	14	-29	-14 ( -7 )	29
電気機械	13	-36	15 ( -27 )	15
輸送用機械	10	-67	10 ( -50 )	-18
精密機械	X	X	X ( X )	X
その他の製造業	41	-5	-10 ( 15 )	-18
<b>非製造業</b>	<b>220</b>	<b>-9</b>	<b>-8 ( -8 )</b>	<b>-7</b>
建設	73	0	12 ( -2 )	-1
不動産	12	-27	-33 ( -15 )	-50
卸売	37	-27	-35 ( -15 )	-11
小売	31	-29	-16 ( -23 )	-30
運輸・通信	11	-27	-36 ( 0 )	0
電気・ガス	X	X	X ( X )	X
サービス	47	8	-2 ( 0 )	9
リース	X	X	X ( X )	X
その他の非製造業	5	40	20 ( 0 )	20

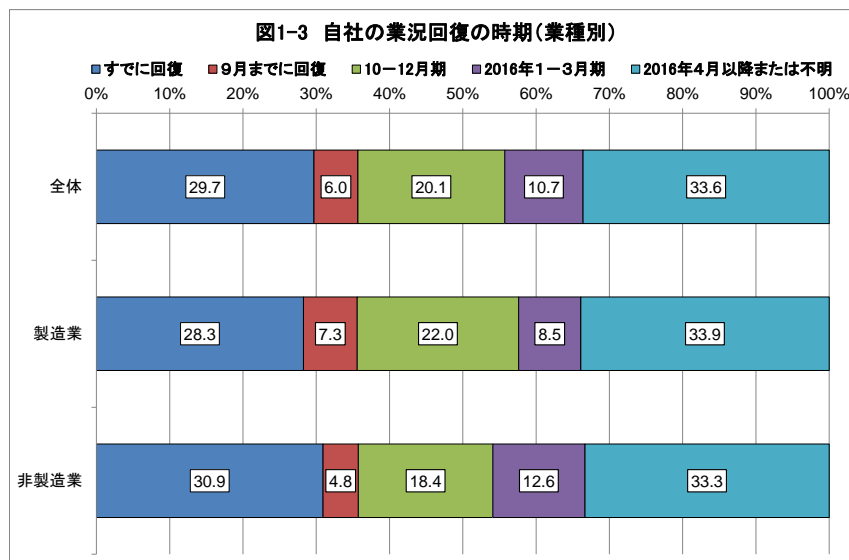
(※1) 回答数が3社以下の業種は非表示(X)

(※2) ( )内の数値は前回調査時点での7-9月期の見通し

## (2) 自社の業況回復の時期…すでに回復は約3割

自社の業況回復の時期をみると、「すでに回復（好調維持を含む）」した企業の割合は29.7%だった。「9月まで」（6.0%）を合わせても35.7%にとどまった。一方で半年以上先の「2016年4月以降」も33.6%と3分の1で、一部では業績不振が続くとみられる。

業種別では、「すでに回復」した企業の割合は、製造業の28.3%に対し非製造業は30.9%と、若干だが非製造業の方が回復の割合が高いとみられる結果となった。



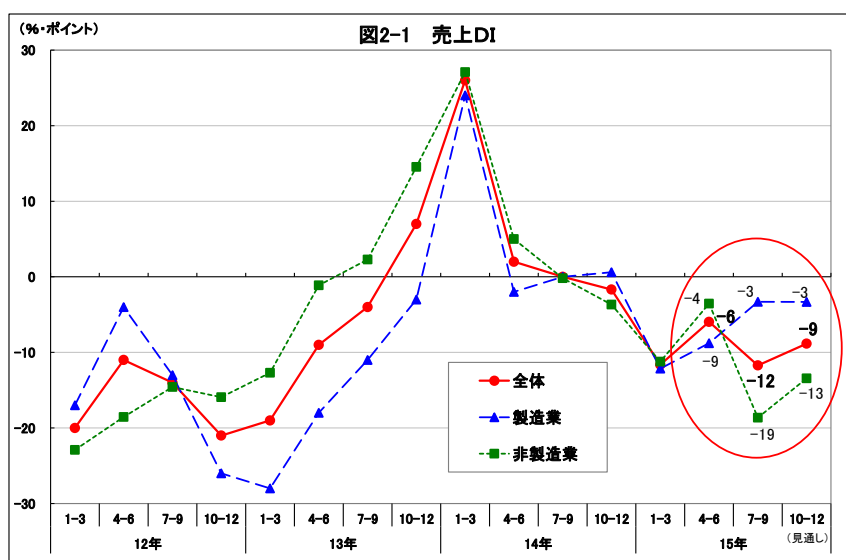
## 2. その他の判断項目

### (1) 売上DI…低下に転じる

現在の売上DI（「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた値）は-12で、前回の-6から-6ポイントと、再び低下した。

業種別では、製造業は+6ポイント（-9→-3）と上昇した。木材・木製品、窯業・土石、金属製品、その他の製造業などで上昇したが、紙・パルプなどで低下した。非製造業は-15ポイント（-4→-19）と低下した。その他の非製造業などでは横ばいだったが、運輸・通信、卸売、サービスなどで低下した。

3カ月後は、製造業は横ばい（-3→-3）、非製造業は+6ポイント（-19→-13）で、全体では+3ポイント（-12→-9）の見通しである。

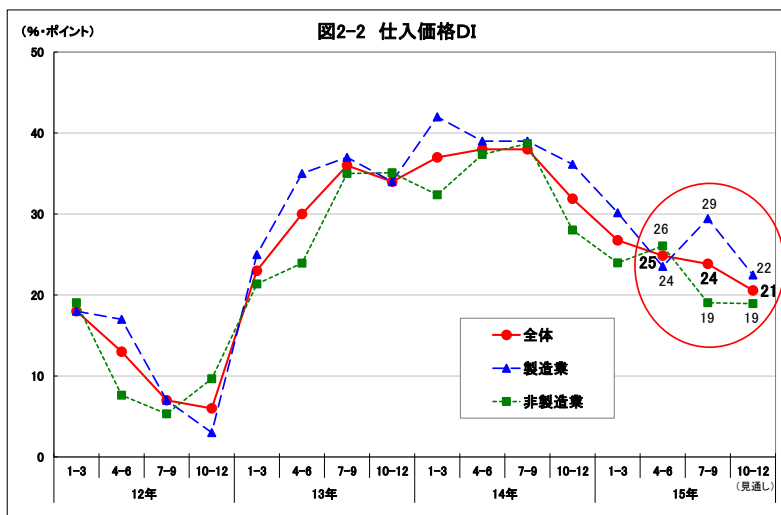


### (2)仕入価格DI…4四半期連続で低下するも、ほぼ横ばい。厳しい状況が続く

現在の仕入価格DI（「上昇」と回答した企業の割合から「下落」と回答した企業の割合を引いた値）は+24で、前回の+25から-1ポイントと、4四半期連続で低下したものの、厳しい状況が続いている。

業種別にみると、製造業は+5ポイント（+24→+29）だった。食料品、化学、その他の製造業などで上昇した。一方、窯業・土木が“もちあい”まで低下したほか、繊維、木材・木製品、紙・パルプなどでも改善した。非製造業は-7ポイント（+26→+19）と低下した。小売、卸売、サービスなどが低下したが、運輸・通信、不動産、その他の非製造業でやや上昇した。

3カ月後は、製造業は-7ポイント（+29→+22）と低下し、非製造業は横ばい（+19→+19）と、全体では-3ポイント（+24→+21）とさらに低下する見通しである。

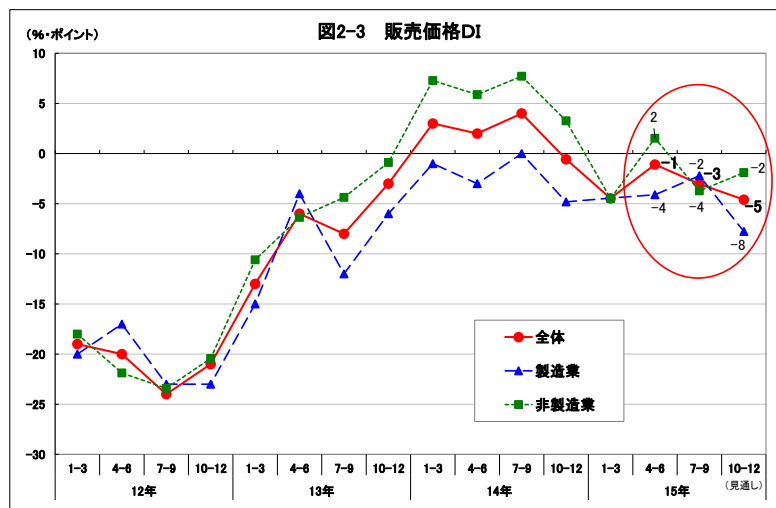


### (3)販売価格DI…再び低下に転じ、仕入価格との差は縮まらず

現在の販売価格DI（「上昇」と回答した企業の割合から「下落」と回答した企業の割合を引いた値）は前回の-1から2ポイント低下の-3でマイナス水準にとどまり、仕入価格との差は縮まらなかった。

業種別にみると、製造業はわずかに上昇（-4→-2）。電気機械、輸送用機械などで上昇したが、繊維、紙・パルプ、一般機械などでは低下した。結果、食料品、電気機械、輸送用機械はプラス水準に転じ、他は“もちあい”あるいはマイナス水準となった。非製造業は-6ポイント（+2→-4）で、再びマイナス水準に転じた。サービス、その他の非製造業は上昇してプラス水準となったが、運輸・通信、小売などで低下した。

3カ月後は、製造業が-6ポイント（-2→-8）、非製造業は+2ポイント（-4→-2）となり、全体では-2ポイント（-3→-5）と、価格転嫁の進展は厳しい見通しである。

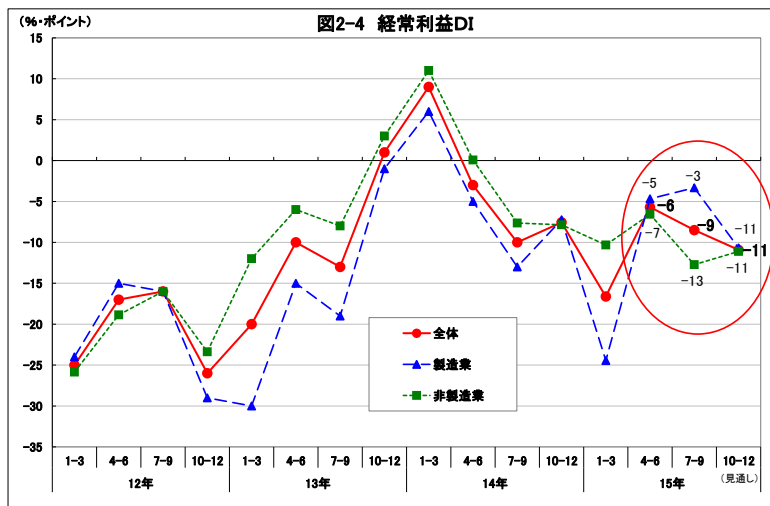


#### (4) 経常利益DI…再び低下し、6四半期連続のマイナス水準

現在の経常利益DI（「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた値）は-9で、前回の-6から3ポイント低下し、6四半期連続でマイナス水準にとどまった。

業種別にみると、製造業は+2ポイント（-5→-3）と上昇した。木材・木製品、紙・パルプ、窯業・土石などが“もちあい”もしくはプラス水準に回復したほか、化学、電気機械なども上昇し、プラス水準を維持した。一方、一般機械、食料品などで低下した。非製造業も-6ポイント（-7→-13）と低下。小売がプラス水準に回復したほか、その他の非製造業も上昇したが、運輸・通信、サービスで低下した。

3カ月後は、製造業は-8ポイント（-3→-11）と低下に転じ、非製造業は+2ポイント（-13→-11）と上昇、全体では-2ポイント（-9→-11）とさらに低下する見通しである。

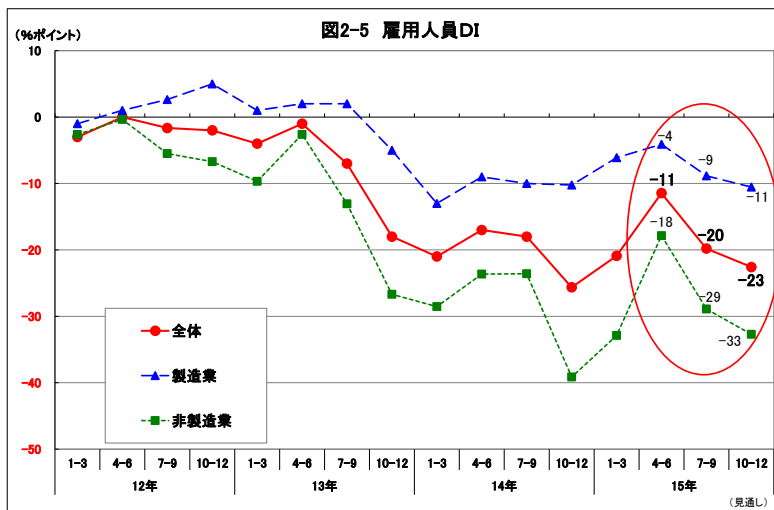


#### (5) 雇用人員DI…3四半期ぶりに低下、人手不足が続く

現在の雇用人員DI（「過剰」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値）は-20だった。前回の-11から-9ポイントと、3四半期ぶりに大きく低下し、12年7-9月期から13四半期連続でマイナス水準（人手不足）が続く。

業種別にみると、製造業は-5ポイント（-4→-9）と低下。化学、輸送用機械、その他の製造業などで低下し、なかでも輸送用機械はマイナスに転じた。一方、紙・パルプは“もちあい”からプラスに転じ、過剰感が強まった。非製造業も-11ポイント（-18→-29）と低下。サービス、不動産が大幅に低下し、すべての業種で“もちあい”あるいはマイナス水準となった。

3カ月後は、製造業は-2ポイント（-9→-11）、非製造業も-4ポイント（-29→-33）で、全体でも-3ポイント（-20→-23）と引き続き低下し、不足感は強まる見通しである。

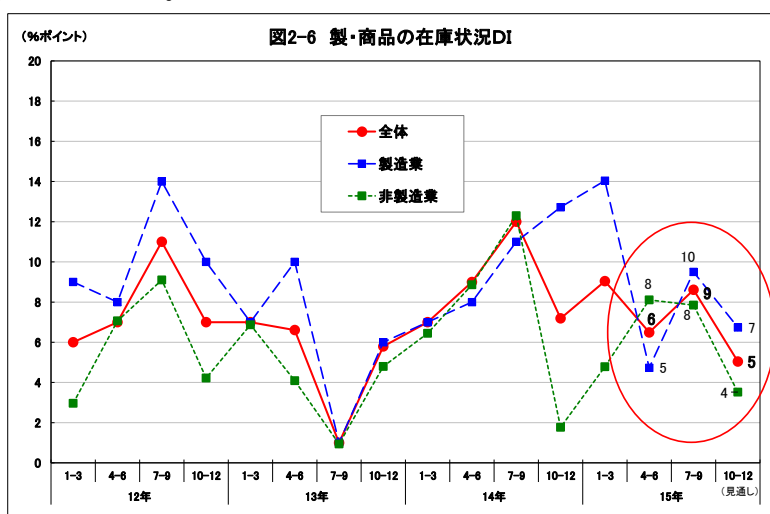


### (6) 製・商品の在庫状況DI…過大感がやや強まる

現在の製・商品の在庫状況DI（「過大」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値）は+9で、前回の+6から+3ポイントと過大感がやや強まった。

業種別にみると、製造業は+5ポイント（+5→+10）と、前回7四半期ぶりに低下したところから一転、上昇した。繊維、その他の製造業などで大きく上昇したが、輸送用機械、木材・木製品、一般機械などで低下した。非製造業は横ばい（+8→+8）。その他の非製造業は低下して“もちあい”となる一方、建設、不動産は上昇した。特に、卸売、小売、不動産では過大感の強い状況が続いている。

3カ月後は、製造業は-3ポイント（+10→+7）、非製造業は-4ポイント（+8→+4）とそれぞれ低下し、全体では-4ポイント（+9→+5）と、やや低下するものの過大感が続く見通しである。

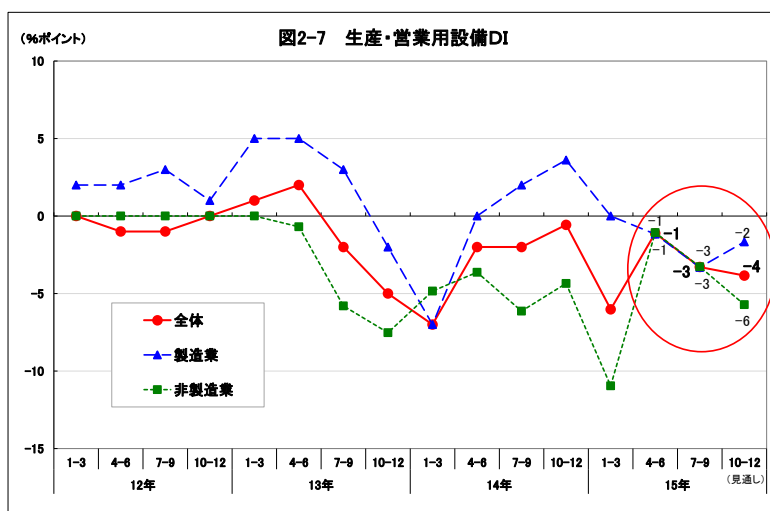


### (7) 生産・営業用設備DI…不足感がやや強まる

現在の生産・営業用設備DI（「過剰」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値）は、前回の-1から2ポイント低下の-3と、不足感がやや強まった。

業種別にみると、製造業は-2ポイント（-1→-3）とやや低下した。紙・パルプで大幅に上昇して過大に転じ、繊維、紙・パルプ、木材・木製品、金属製品では過剰となったが、食料品、輸送用機械などで不足となった。非製造業も-2ポイント（-1→-3）とやや低下。運輸・通信でやや過大感が強く、不動産、サービス、小売はやや不足感が強いものの、他の業種はおおむね適正水準となっている。

3カ月後は、製造業は+1ポイント（-3→-2）、非製造業は-3ポイント（-3→-6）、全体では-1ポイント（-3→-4）とやや低下する見通しである。



### 3. 設備投資の実施状況

#### (1)設備投資の実施割合…49%と投資意欲戻る

今期（7-9月期）に設備投資を実施した（する）企業の割合は49%だった。3四半期ぶりに低下した前回（44%）から一転して上昇し、50%前後の高水準に戻った。

業種別にみると、製造業は55%で、前回（45%）から+10ポイントと大幅上昇。うち輸送用機械で7割を超え、化学が8割近く、窯業・土石ではほぼ9割となった。非製造業は45%（同44%から+1ポイント）で、その他の非製造業で6割、小売で5割を超えた。

3カ月後の設備投資実施予定の割合は、製造業が49%、非製造業が33%で全体では40%と、再び低下に転じる見通しである。

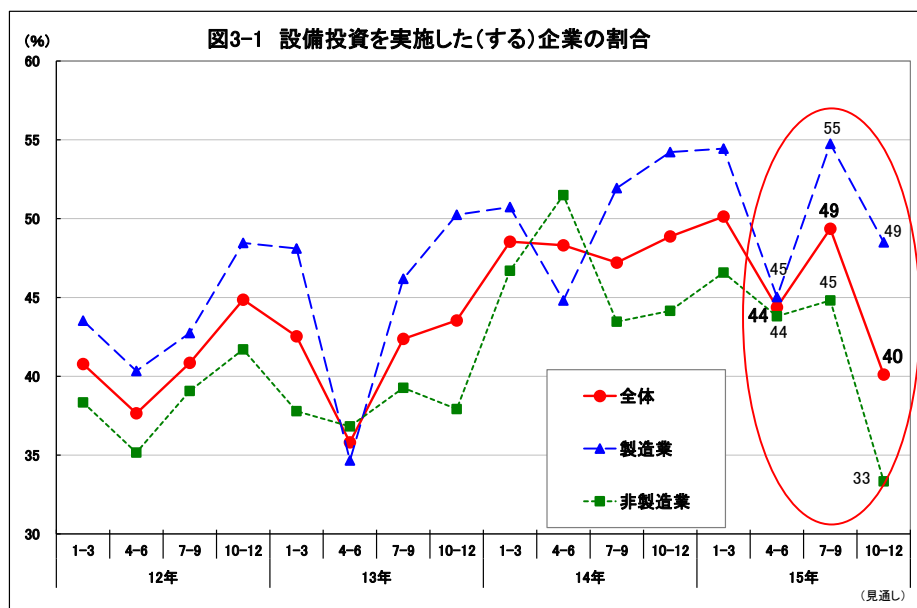


表3 設備投資を実施した(する)の企業の割合(業種別詳細) (%)

業種(※)	15年 4-6月期 前回	7-9月期 今回	10-12月期 見通し
<b>全体</b>	<b>44</b>	<b>49</b>	<b>40</b>
<b>製造業</b>	<b>45</b>	<b>55</b>	<b>49</b>
繊維	52	54	41
木材・木製品	23	36	20
紙・パルプ	50	33	33
化学	45	78	67
石油・石炭	X	X	X
窯業・土石	63	89	78
鉄鋼	X	X	X
非鉄金属	X	X	X
食料品	38	46	50
金属製品	59	56	41
一般機械	57	54	69
電気機械	18	69	58
輸送用機械	50	73	55
精密機械	X	X	X
その他の製造業	43	41	46
<b>非製造業</b>	<b>44</b>	<b>45</b>	<b>33</b>
建設	49	41	28
不動産	27	42	25
卸売	39	44	26
小売	33	54	39
運輸・通信	67	45	55
電気・ガス	X	X	X
サービス	50	43	40
リース	X	X	X
その他の非製造業	40	60	60

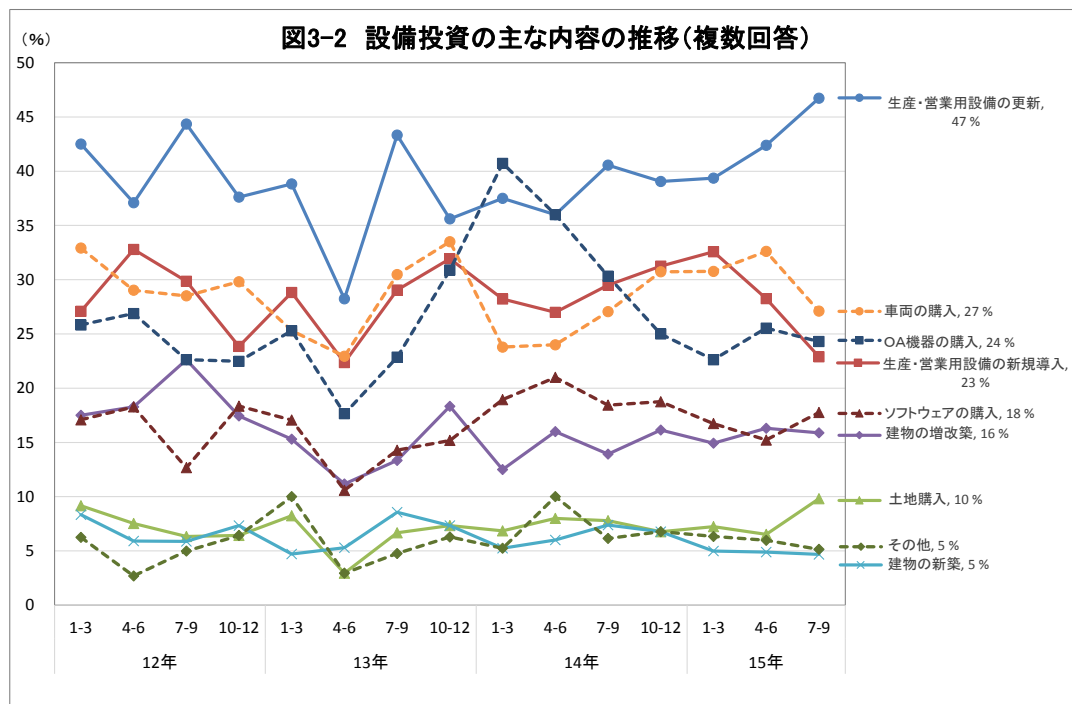
(※)回答数が3社以下の業種は非表示



## (2)設備投資の主な内容…トップの「生産・営業用設備の更新」が3四半期連続上昇

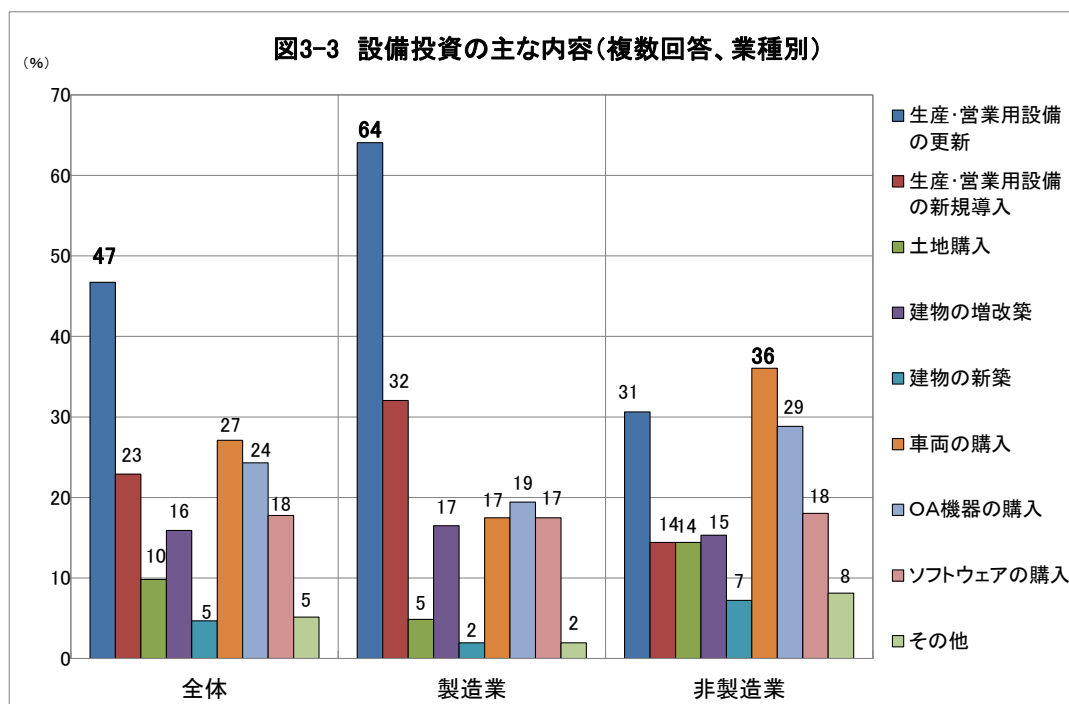
### ①全体の動向 (図3-2)

設備投資を実施した(する)企業のうち、設備投資の主な内容をみると(複数回答)、「生産・営業用設備の更新」(47%)が最も多かった。次いで「車両の購入」(27%)、「OA機器の購入」(24%)、「生産・営業用設備の新規導入」(23%)などが続いた。ほとんどの項目が横ばいもしくは低下するなか、「生産・営業用設備の更新」は3四半期連続で上昇している。



### ②業種別の動向 (図3-3)

業種別にみると、製造業は「生産・営業用設備の更新」(64%)、非製造業は「車両の購入」(36%)が最も多かった。



【参考資料】

1. 現在の業況判断の根拠となる具体的な理由や背景（一部抜粋）

【製造業】

「良い」（かなり良い+やや良い）

業種	事象
繊維	・受注が堅調である。
化学	・新規品の受注および問い合わせが増加。
窯業・土石	・新事業の成長、従来事業の安定、減少事業の下げ止まり。
非鉄金属	・新規取引により売上40%増加。
食料品	・猛暑による飲料品の売上増加。
金属製品	・輸出が好調で売上が4%増加。
一般機械	・売上は前年対比でほぼ横這い。為替(円安)によるマイナス要因もあるが、仕入価格交渉、コスト削減等により、利益率は前期比1.6ポイント上昇。
その他の製造業	・ブームにより酵素健康食品の売上が15%増加。

「悪い」（かなり悪い+やや悪い）

業種	事象
繊維	・受注量が昨年対比6%程度減少。 ・電力料金の高騰、受注量の低迷。
紙・パルプ	・消費増税後の売上減少、電気代など製造コストの上昇。 ・今年後半から来年に向けての案件が約10~20%増加する見込み。
化学	・原油価格が下げ止まらないため、再生油の販売価格も比例して落ち込んでいる。
窯業・土石	・受注減の影響で生コンクリートの売り上げが前年比20%以上減少した。
鉄鋼	・中国不況による建機向け部品の不振。 ・平均推移していた標準製品の出荷の減少。
非鉄金属	・円安で仕入材料費が上昇しており、売価への転化もできていない。太陽光関連商品が後発企業が増加し競争が激化。市場の冷え込みで昨年の60%程度まで落ち込んでいる。
食料品	・同業者間の競争で売上10%減少。 ・酷暑の影響で売上減少。
金属製品	・自動車部品について、中国での販売減少を受けて在庫調整が行われるため、当社生産量の減少が見込まれる。 ・前年度にスポット受注があったため。
その他の製造業	・スマホ、デジカメ市場低迷で10%減少。 ・季節的な商品であることを割り引いても今期は売り上げが伸びない。景気が良いのは一部の企業だけだと思う。 ・売上減少、材料費(主に紙)値上げ。 ・中国の情勢悪化。 ・中国経済低迷の影響で売り上げが15%減少。

【非製造業】

「良い」 (かなり良い+やや良い)

業種	事象
建設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問い合わせの件数が過去最高数を記録。</li> <li>・改修工事の金額が多くなった。</li> <li>・安定した受注が得られている。</li> <li>・分譲地の売買契約件数、リフォーム工事の受注件数が増加。</li> <li>・官公庁工事受注により売上増加。</li> <li>・太陽光発電設置工事の売上が増加。</li> </ul>
不動産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地、中古住宅の売り上げ増加。</li> </ul>
卸売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金等で設備投資が活発。</li> </ul>
小売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新店舗出店により売上増加。</li> <li>・改装した店舗の売り上げ改善などにより前年比売り上げが約10%増加で推移している。</li> <li>・6~7月の天候の影響でビールの売上が10%減少したが8月の天候の回復で8~9%増加した。</li> </ul>
サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外からのお客様の売上が増加し、国内の旅行需要増加も含め、全体の売上が増加した。</li> <li>・円安の影響で国内旅行の需要が増加。「ふるさと割」(プレミアム旅行券)による旅行需要の増大。</li> <li>・引き続きソフトの売上が好調。</li> <li>・季節的要因。</li> </ul>
その他の非製造業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規受注により売上が増加した</li> </ul>

「悪い」 (かなり悪い+やや悪い)

業種	事象
建設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間設備投資の停滞と官公庁工事の予算減少による発注減により、受注額に影響。</li> <li>・ハウスメーカーの受注が減少。</li> <li>・昨年の同時期よりも売り上げが40%減少。</li> </ul>
卸売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風と酷暑で人が海に出ない影響で売り上げ減少、販売単価が下落傾向。</li> <li>・売上急降下。住宅着工と不動産売上の不振が要因。</li> <li>・価格競争における販売単価の下落と、人口減少による販売数量の減少。</li> </ul>
小売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原油安と消費減退により売上が17%減少。</li> <li>・猛暑の影響と消費税増税により、売上が6%減少。</li> <li>・競争が激しく、ディーラーでは車が売れているかもしれないが、個人の販売店では新車が売れない。</li> </ul>
運輸・通信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荷動きが悪く、前年対比で売上・利益ともに減少。</li> <li>・機械設置の部門で売上が伸びていない。関西圏の設備投資が弱いように思える。</li> </ul>
サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化の影響で学校関係の売り上げが10%減少</li> <li>・企業内給食業を営んでいるが、取引先様の従業員が減少傾向にあり食数が伸びない。景気が好転し、工場従業員数が増加することを期待したい。</li> </ul>

2. DI回答一覧(業種別)

項目	業況判断DI				売上				仕入価格				販売価格			
	前回		今回		前回		今回		前回		今回		前回		今回	
	15年 4-6	15年 7-9	15年 7-9	15年 10-12	15年 4-6	15年 7-9	15年 7-9	15年 10-12	15年 4-6	15年 7-9	15年 7-9	15年 10-12	15年 4-6	15年 7-9	15年 7-9	15年 10-12
調査時期	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し
現在/3カ月後の見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し
全体	-14	-6	-9	-4	-6	-5	-12	-9	25	26	24	21	-1	-1	-3	-5
製造業	-20	-4	-11	0	-9	-5	-3	-3	24	22	29	22	-4	-5	-2	-8
繊維	-36	-36	-33	-13	-16	52	-21	29	40	32	29	22	20	8	0	0
木材・木製品	-23	-15	-27	-18	-38	31	9	18	31	31	9	18	0	8	0	9
紙・パルプ	-50	-50	-50	17	25	25	-50	17	75	0	17	0	0	0	-17	-17
化学	-9	27	22	44	-9	9	0	22	-9	18	22	11	-18	-9	-22	-33
石油・石炭	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
窯業・土石	0	13	0	11	-38	25	0	33	13	13	0	0	0	-13	0	0
鉄鋼	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
非鉄金属	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
食料品	8	15	-8	8	0	15	-8	46	0	8	54	38	0	15	8	8
金属製品	-35	6	-11	16	-35	24	-11	21	18	18	26	32	0	-6	-5	-5
一般機械	-29	-7	-14	29	29	7	7	14	21	29	21	29	-7	-21	-21	-36
電気機械	-36	-27	15	15	27	36	31	23	27	18	23	15	-27	-18	8	8
輸送用機械	-67	-50	10	-18	-33	33	-27	64	17	33	27	18	0	0	9	-18
精密機械	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の製造業	-5	15	-10	-18	-5	33	7	33	33	23	48	31	-8	-5	0	-13
非製造業	-9	-8	-8	-7	-4	-5	-19	-13	26	29	19	19	2	2	-4	-2
建設	0	-2	12	-1	4	22	-5	38	24	30	21	21	-4	-2	-7	-6
不動産	-27	-15	-33	-50	-33	31	-25	50	31	25	33	22	-7	-7	-9	-9
卸売	-27	-15	-35	-11	-21	21	-43	33	27	30	22	17	3	3	0	3
小売	-29	-23	-16	-30	-19	39	-16	40	33	33	23	30	10	17	-6	3
運輸・通信	-27	0	-36	0	0	13	-73	27	31	38	38	38	14	7	-22	-11
電気・ガス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
サービス	8	0	-2	9	14	36	-9	26	21	24	16	16	-3	-6	11	7
リース	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の非製造業	40	0	20	20	40	22	40	20	22	13	25	25	10	11	25	25

項目	経常利益				製・商品の在庫				生産・営業用設備				雇用人員			
	前回		今回		前回		今回		前回		今回		前回		今回	
	15年 4-6	15年 7-9	15年 7-9	15年 10-12	15年 4-6	15年 7-9	15年 7-9	15年 10-12	15年 4-6	15年 7-9	15年 7-9	15年 10-12	15年 4-6	15年 7-9	15年 7-9	15年 10-12
調査時期	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し
現在/3カ月後の見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し
全体	-6	-8	-9	-11	6	3	9	5	-1	-5	-3	-4	-11	-15	-20	-23
製造業	-5	-11	-3	-11	5	7	10	7	-1	-3	-3	-2	-4	-8	-9	-11
繊維	-12	-24	0	-13	8	8	38	4	4	0	17	13	-4	-12	0	-13
木材・木製品	-15	-23	9	0	15	23	0	0	-8	0	9	9	-8	0	-9	0
紙・パルプ	-50	-25	0	17	0	25	0	33	-25	-25	17	0	0	-25	17	-17
化学	9	18	11	22	-9	0	-11	0	9	-9	0	-11	27	0	0	-11
石油・石炭	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
窯業・土石	-38	-38	0	22	0	13	-11	0	-13	0	0	0	0	25	0	-11
鉄鋼	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
非鉄金属	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
食料品	23	31	0	-23	-15	-23	-31	-15	0	0	-23	-23	-31	-38	-15	-23
金属製品	-18	6	-11	-21	0	0	17	11	18	6	5	5	6	12	0	-11
一般機械	14	0	-14	-7	21	21	7	7	14	14	-7	0	0	0	0	0
電気機械	18	-9	31	0	18	9	23	8	-9	0	-8	-15	-9	-9	-15	-8
輸送用機械	-50	-33	-27	-50	50	33	9	18	-17	-17	-18	-9	0	0	-18	-18
精密機械	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の製造業	0	-20	-5	-15	-5	-3	13	13	-5	-8	-10	0	-5	-15	-22	-13
非製造業	-7	-5	-13	-11	8	1	8	4	-1	-7	-3	-6	-18	-22	-29	-33
建設	0	-4	-8	-19	-10	-8	3	4	4	-8	-3	-3	-20	-31	-38	-41
不動産	-40	-8	-33	-25	13	0	18	9	0	0	-9	0	14	0	-9	-18
卸売	-42	-12	-30	-11	30	12	24	8	0	-6	3	0	-9	-12	-8	-11
小売	-6	-6	16	3	19	3	19	13	0	-3	-6	-10	-32	-35	-23	-30
運輸・通信	0	13	-36	-9	7	-7	0	-13	0	-8	9	0	-13	-7	-18	-18
電気・ガス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
サービス	16	-6	-19	-9	0	-3	-5	-5	-12	-13	-9	-13	-16	-23	-47	-43
リース	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の非製造業	30	-11	40	40	11	25	0	0	0	0	0	-25	-50	-11	-20	-40

※回答数が3社以下の業種は非表示(Xと表示)